

### 第3回 特別職報酬等審議会会議録（要旨）

[日 時] 平成30年11月9日（金）午後5時35分～午後6時20分

[場 所] 府中市役所 北庁舎 第1・2会議室

[出席者] 委 員（五十音順・敬称略）

井上 郁子、近藤 愛、櫻井 誠、志水 清隆、高野 佳子、  
長崎 益治、濱中 重美、堀江 一男、丸山 悦子、渡邊 信  
事務局等

遠藤政策総務部長、赤岩職員課長、菅職員課長補佐、  
伊藤人事係長、川越主任、大山主任

#### [ 会議経過 ]

1 開 会 会長の司会により開会。

#### 2 議 題

(1) 審議・質疑 別紙参照

(2) 今後の会議日程

会長と会長代理による小委員会を開催し、答申書の素案を作成したのち、11月27日（火）午後5時30分から第4回特別職報酬等審議会を開催することとした。

(3) そ の 他 事務局（人事係長）より、前回の会議録について修正事項の有無の確認及び公開の手続きについて説明があった。

(1) 審議・質疑

（会 長） それでは、早速ですが、議題(1)の審議、質疑に入ります。皆様のご意見を受け賜わりたいと思いますが、事務局から補足説明等ありますか。

（事務局） 審議に入るにあたりまして、事務局から前回の審議の中で、お答えできていないものがありましたので、まずはその説明をさせていただきます。

前回お配りしました追加資料3、平成30年度予算についてご質問いただいた税制改正の時期につきましては、平成30年度の税制改正の内容を踏まえ、平成30年度予算に反映させたものでございます。

続きまして、9月30日に関東地方に接近しました台風24号の被害額についてですが、現時点での概算で、約5,500万円と見込んでおります。内訳といたしましては、道路関係の倒木の対応に約2,000万円、公園の倒木対応等に約850万円（市内9工区中の4工区分）、フェンスの修繕に約2,500万円、住吉地区の野球場の対応に約150万円でございます。

また、ご質問はございませんでしたが、議員や特別職の賞与について、少し補足の説明をさせていただきます。現在本市におきましては、一般職の賞与と連動し、議員や特別職の賞与についても見直しを行っている状況でございます。

従いまして、人事院勧告や東京都人事委員会勧告に基づく、いわゆる公民較差の賞与分の見直しについては、一般職に合わせ、議員や特別職についても例年実施しているとご認識いただければと存じます。

次に、お願いでございます。本日も時間の許す限りご審議いただきたいと存じますが、できましたら、今後の日程もございまして、本日の審議会で結論を決めていただき、「引き上げ」、「引き下げ」の場合には、役職ごとの報酬等の金額を具体的に決定していただきたいと考えております。よろしくご審議のほどお願いいたします。

（会 長） 事務局からできれば本日の審議会で、結論を出して欲しいとの説明がありました。

審議の方法ですが、各職の報酬額等について、「引き上げ」なのか「引き下げ」なのか「据え置き」なのか、お一人ずつご意見をいただき、方向性を確定させ、仮に引き上げ・引き下げとなった場合は、役職ごとの具体的な報酬額を決定し、改定の実施時期について審議をしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(異議なしの声あり)

(会 長) それでは、委員の皆様からお一人ずつ順番に意見を伺っていききたいと思います。

(委 員) 府中市の財政状況は、財政力指数等を見ますと、近隣市との比較で上位に位置しておりますので、安定していると思います。しかしながら、市庁舎の建て替えや学校施設の老朽化対策が今後控えています。また、先般の台風被害において、約5,500万円の災害対策費を要したとの報告もありました。これは、来年度以降どのようになるかはわかりませんが、今まで経験したことのない不測の事態に対応するための予算は今後も必要であると考えます。これらをまとめますと、個人的な感情では、「引き上げ」を検討しても良いのではないかと意見をもっていますが、市民感情も考慮すると、現時点では、「据え置き」が妥当だと考えます。少なくとも引き下げる必要はないと考えます。

(委 員) 結論から申し上げますと、「据え置き」が妥当ではないかと考えます。理由としましては、まず前回「引き下げ」を行った平成23年度の改定時には、リーマンショックという具体的な理由がありました。現在は、好景気を実感できない状況はあっても、「引き下げ」の具体的な理由にはならないため、「引き下げ」とまでは、至らないと考えます。次に、「引き上げ」の検討についてですが、こちらも具体的な理由が見当たらないと思います。歳入の減少、施設の老朽化が進んでいること、インフラ整備や災害対策等に経費が必要である実情から考えると、特別職だけ給料が上がるのは、市民感情としては納得いかないと思います。また、議員の報酬については、他市との比較では少し低いと感じますが、個人的には、市政を担う方々の給料が、一般市民の平均給料と大きくかけ離れてしまうことで、一般的な市民感覚がなくなってしまう不安を感じます。以上のことから、全ての職において、「据え置き」が妥当であると考えます。

(委 員) 前回の審議では、各商店の厳しい経営状況、各補助金や助成金の減額状況を考えますと、「据え置き」が妥当ではないかと判断しておりました。しかしながら、本審議会資料の財政状況や平成30年度予算概要の資料を改めて確認させていただくと、特別職の方々や職員の皆様の有効かつ効率的な財政運営に尽力された結果が、数字として確認できているのではないかと感じました。また、府中市の財政力指数、経常収支比率等の財政状況や特別区、他市の財政状況を踏まえて考えますと、府中市を一つの企業と考えた場合、社員全員で良い結果を生むために様々な努力をしてきた企業努力の成果が出ていると感じました。また、議員報酬の改定状況ですが、改定年月が平成7年9月となっており、20年以上改定されていない状況です。報酬額を比べても東京都の議員報酬の半額程度になっておりますし、報酬額としては少ないのではないかと感じました。以

上の経緯を踏まえて、「引き上げ」を検討しても良いのではないかと感じました。ただし、「引き上げ」がされた場合に、今後の社会経済情勢の急激な変動や他市との均衡の大きな崩れ等、特別職の報酬等をめぐる状況に大きな変化が生じた場合には、本審議会で、額の見直しについて再度検討する必要があると考えます。

(委員) 結論から申しあげると、「据え置き」と考えております。第1回の審議会の中で、引き上げるか、引き下げるかについては、他市や類似団体の状況やこれまでの推移、物価指数の状況が論点になるのではないかと話をしました。その中で、データを含めて確認させていただくと、「据え置き」が妥当ではないかとの結論に至っています。しながら、これまでの皆様の努力の成果として、新給食センターや再開発のル・シーニュ、また、これから先に控えるラグビーワールドカップ、オリンピック等については、イレギュラーな対応となるのではないかと考えています。これらを民間の給与等に置き換えますと、月例賃金の引き上げではなく、一時金に反映される事例になると思います。そういった意味では、まだラグビーワールドカップ、オリンピック等は終わったわけではございませんので、今後検討しても良いのではないかと考えております。ただ、今回については、「据え置き」の結論に至っております。

(委員) 私は、特別職は別として、議長、副議長の報酬は、他団体との比較で低い水準にあるため、「引き上げ」と考えております。全体のバランスを考えた場合に、議長・副議長を引き上げて良いのではないかと考えています。

(委員) 結論としては、「据え置き」だと思います。府中市の財務状況は良いと言われておりますが、これから先を考えた場合、高齢社会が進んでいきます。また、災害対策は、進んではいますが、予算は全く決まっていないものが多い状況です。そういったことから、今後を見据えると不確実なものが多い状況ではないかと感じております。その中で、特別職の報酬等が上がると、固定的な経費が上がってしまう懸念があります。当然収益は右肩上がりではなく、下がっていく可能性も十分にあるため、報酬等を引き上げるだけの非常に好景気の状況等があればいいと思いますが、現状においては、不確実であろうと思います。また、今年の災害被害は甚大でありましたが、来年以降も天候不順や環境が不安定な状態にあるので、被害は増えることが予想されます。高齢社会が進むことや施設の改築等も考慮すると、今後、どの程度の費用を要するのか不透明な状況であり、健全な市政が崩れる可能性があると考えます。また、他市との順位の比較で、「引き上げ」、「引き下げ」を考える必要はないと個人的に思います。府中市として、「将来を見据えてこのような準備をしている」等の具体的な何かがあれば、「引き上げ」検討の材料となりますが、現状では見受けられないため、現状維持が妥当であ

ると考えます。

(委員) 資料だけで、「引き上げ」、「引き下げ」、「据え置き」を判断するのは難しい選択であると感じております。個人の意見としては、消費増税、学校施設の老朽化対策、災害対策等を考えると「据え置き」が妥当でないかと思えます。しかしながら、年々少しずつでも上がっていく方が、仕事を行う立場としては、モチベーションも上がるのではないかと考えます。

(委員) 私は、「据え置き」の意見です。理由は、最初に事務局から論点としていくつかポイントの話があった中の日本の経済状況、府中市の財政状況の観点で申し上げますと、日本の景気については、少し好景気の状態にはありますが、おそらく市民の方は実感として感じていないだろうと思えます。また、府中市の財政状況も数字としては、他市との比較で良い状態にあると思えますが、今後の税収の減収の見込み等、市民サービスの観点から、市民の方は不安に思っている部分があると思えます。また、一般職員の改定が今年はないことも理由の一つです。これらのことから、「据え置き」の意見です。

なお、私も資料16-2の議長・副議長、議員の較差は気になっておりますが、一部の職種のみ引き上げることは、難しいかと思えますので、今後、全体が「引き上げ」の結論に至った場合に、バランスを見て、引き上げ幅を考えた方が良いと思えます。

また、先ほど議員の報酬が20年以上改定されていない話もありましたので、その部分も気になっております。前回の審議会でも出ていた話ですが、特別職、議員の活動内容がなかなか見えにくい現状があると思えます。景気が良いことだけを理由に、「引き上げ」の結論に至ることは難しいと思えますので、判断材料となる資料を今後出していただけると、また違った観点から議論ができるのではないかと考えます。

(委員) 平成28年度の開催時に「据え置き」の結論に至り、それからの2年間で経済状況や様々な状況が、良い方向に変化したことはないと思えます。その一方で、台風や夏の暑さ等、環境が変わったと感じることがたくさんありました。市民アンケートの結果では、府中市は住みやすいとの意見は出ていましたが、市民感情を考えますとこの2年間でいい方向に変化したことはないと考えます。また、特別職については、他市との比較でも低い水準にはありませんので、現状維持で問題ないと思えますし、議員については、検討する余地があると思えますが、賞与は一般職と連動し、見直しを行っているとのことでしたので、今回は、「据え置き」の結論を出させていただき、また、2年後再度検討できればと考えます。

(会長) 委員の皆さまから様々なご意見を賜りました。その中で、「据え置き」の意見や一部の役職のみ「引き上げ」の意見も出ましたが、「引き下げ」の意見は出ませんでした。審議会として最後に結論を出す

必要がございますので、ここでまず方向性を決定したいと思います  
が、よろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

それでは、ここで裁決を採りたいと思います。

皆さんの意見をお聞きして、「据え置き」の意見が多いため、本  
審議会としては、報酬等の額を「据え置き」とする結論に達しま  
した。